

第20回滋賀県首長会議テーマ一覧

提案団体	整理番号、テーマ名およびテーマの趣旨（概要）
①新型コロナウイルスワクチン接種について	
彦根市	64歳以下のワクチン接種に向けての課題について
	<p>64歳以下の新型コロナウイルスワクチン接種の実施については、65歳以上高齢者に比べて対象者数が2倍以上と多く、またライフスタイルが異なるため、接種体制の見直しが必要である。</p> <p>そこで、</p> <p>① 集団接種および個別接種にかかる医師会の協力状況 協力医師数、集団接種については曜日・時間帯・月あたり協力回数など</p> <p>② 国から補助金の見込みについて</p> <p>以上2点について、情報交換させていただきたい。</p>
湖南市	新型コロナウイルスワクチンの接種について
	<p>現在、64歳以下の人についても早急にワクチンが行き届くよう各市町で準備を進めているところではあるが、今後、接種の対象者が増加するのに対し、ワクチンの供給量が減っており、安定した供給と今後の接種スケジュールの見通しが不透明な点が課題である。</p> <p>福祉施設職員や保育士、警察官など約6万人を対象に行う大規模接種についても、今後、接種対象者の拡大や、一般の人が接種できる見込みについても検討が必要だと考える。また、職域接種についても円滑な推進を図るための取組が必要であり、この点についても意見交換や情報共有を行いたい。</p>
日野町	ワクチン接種について
	<p>新型コロナワクチン接種については日々状況は変化しているが、各市町の状況や課題を共有しその解決に向けて意見交換をさせていただきたい。</p> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎疾患を有する者への接種 ・高齢者施設等の従事者への接種(エッセンシャルワーカーへの対応) ・接種を希望しているが出来ていない高齢者への対応 ・県設置の大規模接種会場のスケジュールと連携 ・職域接種の推進(企業や大学、工業団地、団体など) ・64歳以下の集団接種(接種の案内とスケジュール) ・外国籍の方への対応 ・小中高校生への接種 ・若年層の接種率向上の取り組み ・ワクチン接種が通年化した場合の体制、など

提案 団体	整理番号、テーマ名およびテーマの趣旨（概要）
②DX(デジタル・トランスフォーメーション)の推進について	
滋 賀 県	<p>新型コロナウイルス感染症の流行に伴う「新たな日常」の進展は、デジタル技術が県民生活や経済活動の維持に必要不可欠なものであるとともに、その活用が十分ではない現状を改めて認識させる契機となり、行政をはじめ、これまでデジタル化が進まなかった領域における迅速なデジタル化への対応と、制度や組織の在り方をデジタル化に合わせて変革していく、社会全体のデジタル・トランスフォーメーション(DX)が求められている。政府においてもデジタル社会の形成に向けた取組が加速しており、指令塔となる「デジタル庁」の創設を盛り込んだデジタル改革関連6法が5月12日に成立、デジタル庁の9月発足に向けた準備が本格化している。</p> <p>政府が示す目指すべきデジタル社会のビジョン「デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会～誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化～」の実現のためには、住民に身近な行政を担う自治体の役割は重要であり、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自らが担う行政サービスについて、デジタル技術やデータを活用した住民の利便性の向上 ・デジタル技術やAI等の活用により業務効率化を図り、人的資源を行政サービスの更なる向上に活用 ・データが価値創造の源泉であるという認識を共有し、多様な主体によるデータの円滑な流通の促進と、EBPMによる行政の効率化・高度化 <p>が求められるなど、自治体のDXを推進する意義は大きい。</p> <p>また、民間の知見を積極的に活用しながら、規制の見直し等デジタル社会の形成を阻害する要因の解消や、民間の活力が十分に発揮される環境整備等を行うことが国および自治体には求められている。</p> <p>県では、行政のデジタル化を計画的に推進するとともに、産業・社会基盤としてのデジタルインフラを浸透させることで、県民の暮らしを豊かで快適にする滋賀県全体のDXを実現するため、「(仮称)滋賀県DX推進戦略」を今年度中に策定する予定であることから、戦略に基づき様々な分野において県市町が連携し、取組を進めていくことができるよう、戦略の策定に向けて、DX推進に向けた取組や県市町の役割等について議論を行う。</p>